

大腸内視鏡検査 同意書

【大腸内視鏡検査について】

内視鏡を肛門から挿入し、直腸から盲腸までを観察する検査です。負担の少ない、安全性の高い挿入法を行います。検査時間は10-15分前後です。必要時、組織検査を行います。

【偶発症】

- ①内視鏡挿入に伴うリスク：非常に稀ですが、術後癒着などにより腸管出血や腸に穴が開くことがあります。（自分自身が関わった検査では0%）
- ②組織検査後の出血：稀ですが、帰宅後に出血が続けばご連絡ください。
- ③アレルギー・鎮静剤によるもの：注射部の血管痛／薬疹／ショック／呼吸抑制等。

【麻酔（鎮静剤と鎮痛剤）を使用した大腸内視鏡】

- ①麻酔後はリラックスした状態で検査を受けることができます。
- ②検査後、リカバリー室で1時間ほど休憩していただきます。
*鎮静剤は判断力の低下、ふらつき、転倒の危険性が高まります。検査当日のお車の運転、機械操作や高所作業等はできません。

【麻酔を使用する大腸内視鏡について】

麻酔を用いた検査を 希望する 希望しない

【内視鏡的大腸ポリープ切除術】

- ・大腸ポリープがあればその場で切除できます（日帰り治療）。
- ・ポリープの大きさや数によっては後日、基幹病院で入院治療が必要です。

【大腸ポリープ切除に伴う偶発症】

- ・治療後1週間程度は後出血の危険性があります。
- ・ポリープ切除後1週間は飲酒、遠出の旅行・激しい運動も控えて頂きます。

【ハナオカ消化器・内視鏡内科院長殿】

上記内容の説明を受け、質問をする機会を得て、内容を理解しましたので、大腸内視鏡検査の実施に同意いたします。なお、上記の医療を行う上で必要な処置において予期されない状況が発生した場合は、それに対処する緊急処置を受けることも併せて同意します。

年 月 日

患者様または親権者様の署名

確認者：
